

2024年度版

環境経営レポート



対象期間:2024年5月1日～2025年4月30日

2025年7月1日 発行



株式会社 広田製作所
Hirota Seisakusho Limited



®環境省
エコアクション21
認証番号 0000272

～ 目 次 ～

表 紙	P1
目 次	P2
1 組織の概要及び対象範囲 (1)事業所名・所在地・連絡先 (2)環境保全関係の責任者 (3)事業内容及び認証登録範囲 (4)事業規模 (5)環境保全関連業務の役割	P3
2 環境経営方針	P4
3 次年度環境経営目標と今年度実績・評価 継続取組と課題・取組の内容	P5～P11
4 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	P12
5 代表者による全体評価と見直しの記録・指示 結果	P12
6 その他の取り組み・活動	P16

1 ～組織の概要及び対象範囲～



エコアクション21
認証番号 0000272



(1) 事業所名・所在地・連絡先

事業所名 **株式会社 広田製作所**

所在地/連絡先 〒382-0901 長野県須坂市大字小河原3954-13

TEL:026-245-1212(代) FAX:026-248-2947

お問い合わせ [株式会社広田製作所 \(https://www.hirotass.co.jp\)](https://www.hirotass.co.jp)

(2) 環境保全関係の責任者

- ・最高責任者 代表取締役社長
- ・環境管理責任者 品質保証部長

(3) 事業内容及び認証登録範囲

ストレージ・EMS製品の設計開発及び製造・試験、技術派遣業

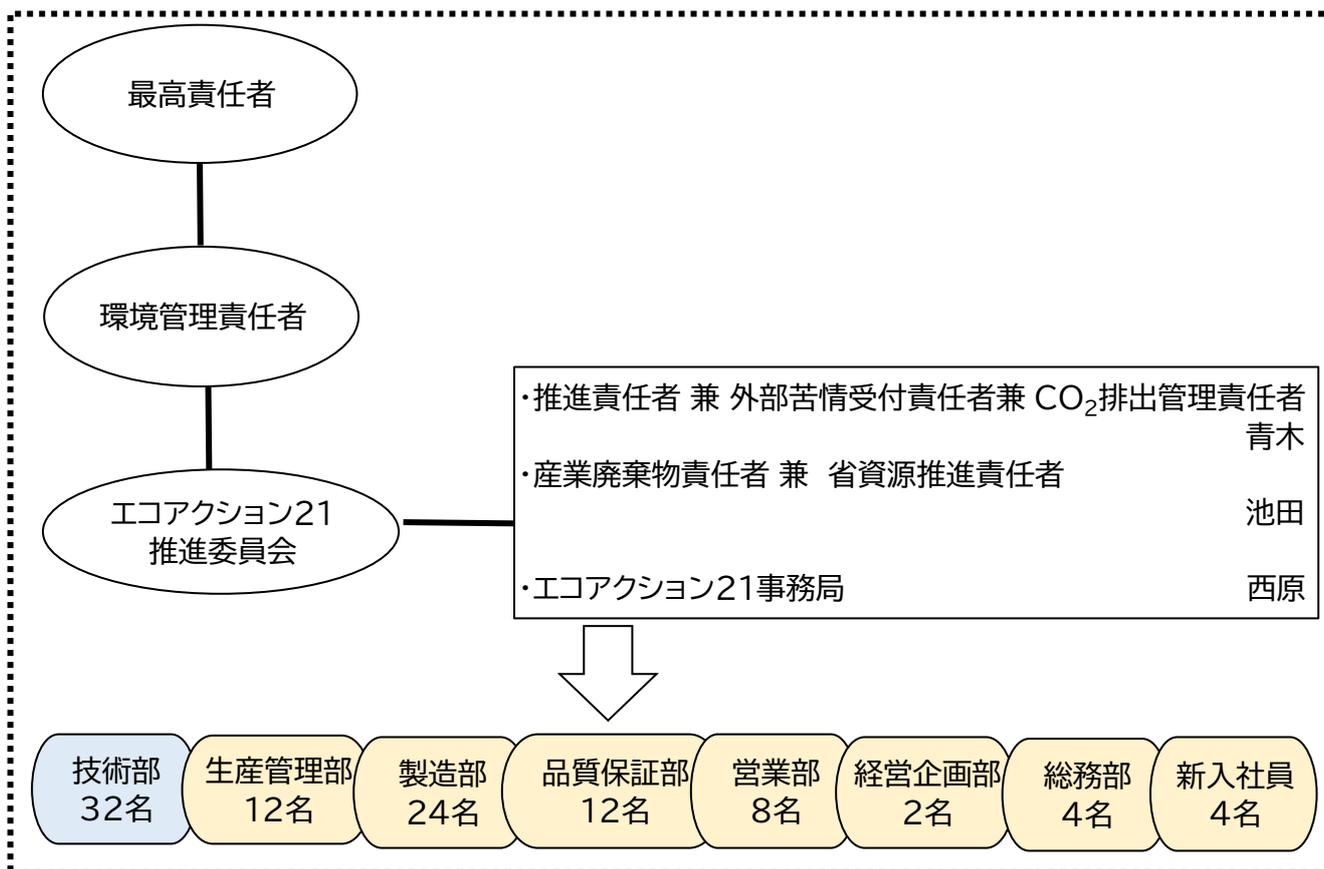
(4) 事業規模

工場	売上額 (2024年度)	従業員数	対象組織	延床面積
		～2025.4.30		
工場棟	16億3千7百万円	67名	66名	1,869㎡
技術棟		33名	32名	277㎡
実験棟				113㎡
顧客先		27名	0名	-
全体		127名	98名	2,259㎡

注)顧客先での就業者は非対象とする

(5) 環境保全関連業務の役割の明確化(2024年度)

以下にエコアクション21推進委員会組織を設置し、環境関連活動を計画・推進する。



2 ～ 環境経営方針 ～

環境経営方針

理 念

㈱広田製作所は、情報機器の提供メーカーとして、社会の持続可能な発展に向けた環境への取り組みが経営上の重要課題と認識し、信州の豊かな自然を次の世代に残すことを目指して、全ての組織と一人ひとりの行動により先行した取り組みを継続して追求して行きます。

基本方針

1. 環境問題への取り組み

企業活動のあらゆる面で、環境との調和を図っていくため、社内の全部門はもとより、広く関係先と協力して、環境保全に配慮した商品や技術の開発を推進します。

また、社員一人ひとりが生物多様性保全を始めとした環境保全活動に貢献するよう啓発を行い、生物に与える影響を最小限に抑えます。

2. 企業責任の遂行

設計・開発から、生産、販売、製品搬送等の全ての段階において、環境汚染の未然防止に努め、省資源・省エネルギー型の製品設計を行い、環境への負荷低減に取り組みます。また、企業活動に伴う環境負荷を把握し削減する為に、下記項目について環境目標等を定めて取り組みます。

- ・ 環境に配慮した製品を設計・製造する
- ・ グリーン購入の推進
- ・ 二酸化炭素排出量の削減（購入電力・ガソリン・灯油使用量の削減）
- ・ 廃棄物処分量の削減
- ・ 水資源利用量の削減

3. 関連法令の遵守

事業活動に適用される環境法、自主基準及び当社が同意するその他の要求書を遵守します。

4. 環境マネジメントシステムの継続的改善

環境マネジメントシステムを継続的に改善するとともに、汚染を予防します。

2018年7月5日

株式会社広田製作所

代表取締役社長

広田文雄

3 ～次年度環境経営目標と今年度実績・評価～

- 1 環境負荷低減を追求した製品設計・製造を推進する
- 2 環境に配慮した部品の優先調達を推進
- 3 CO₂排出量総合計削減（エネルギー消費量削減）

前年度CO₂排出量総合計実績値より年率0.1%以上削減を目標とする

項目	単位	24年度(前年)実績	25年度目標	26年度	27年度
CO ₂ 排出量総合計	kg-CO ₂	67,328	67,260	67,193	67,126

4 産業廃棄物処分量の削減

前年度年間実績より年率0.1%以上削減を目標とする

項目	単位	24年度(前年)実績	25年度目標	26年度	27年度
廃棄プラスチック	kg	1,220	1,219	1,218	1,216
可燃ごみ	kg	1,040	1,039	1,038	1,037

5 水資源利用量の削減

前年度年間実績より年率0.1%以上削減を目標とする

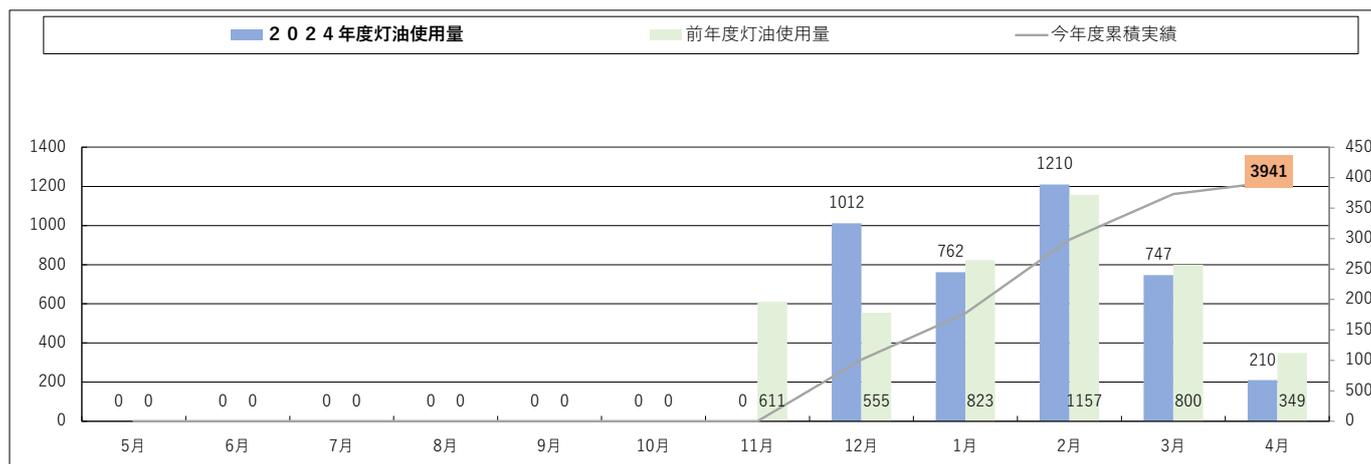
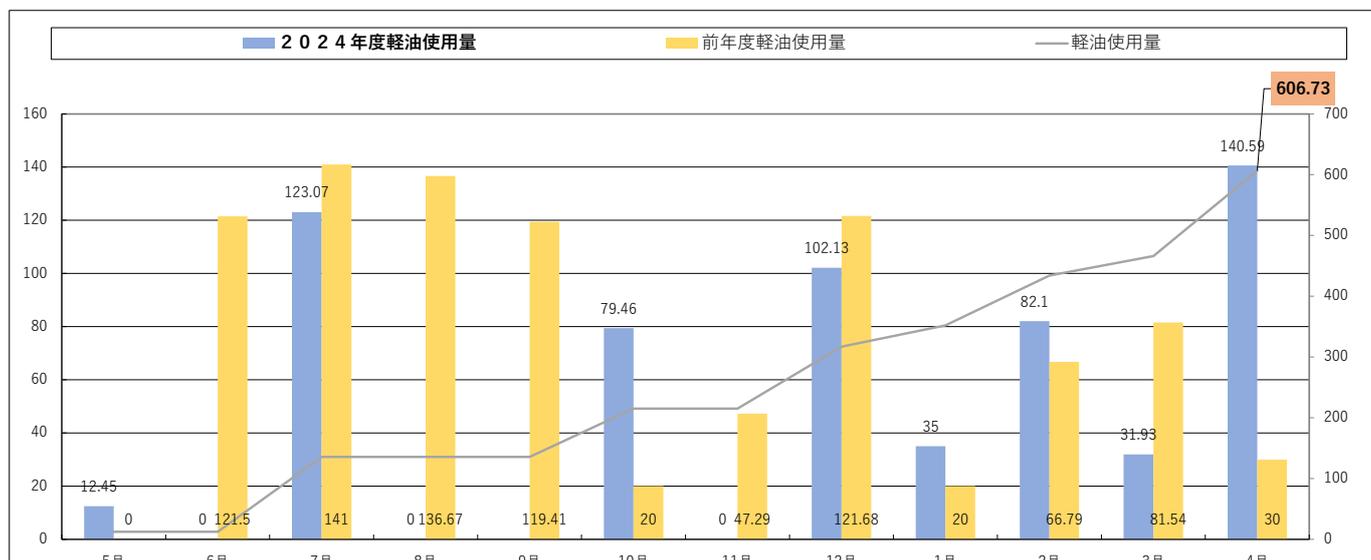
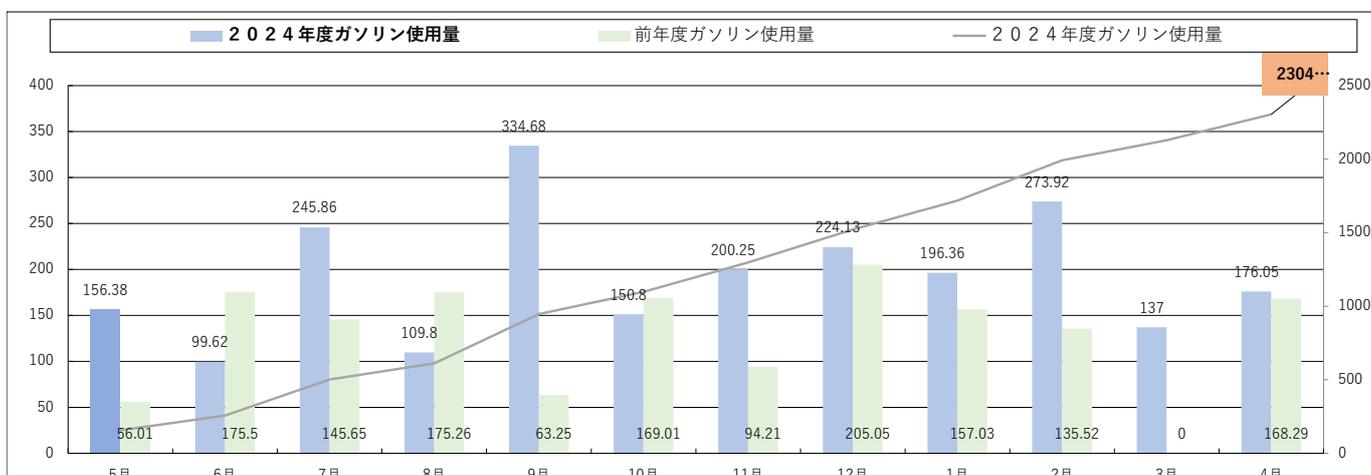
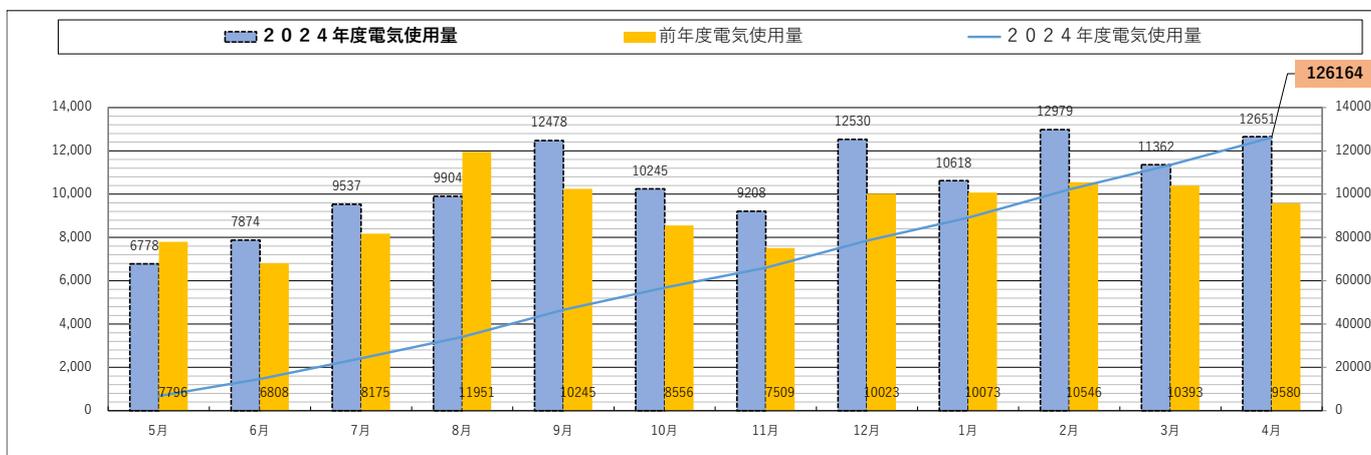
項目	単位	24年度(前年)実績	25年度目標	26年度	27年度
水資源利用量	m ³	393	392.6	392.2	391.8

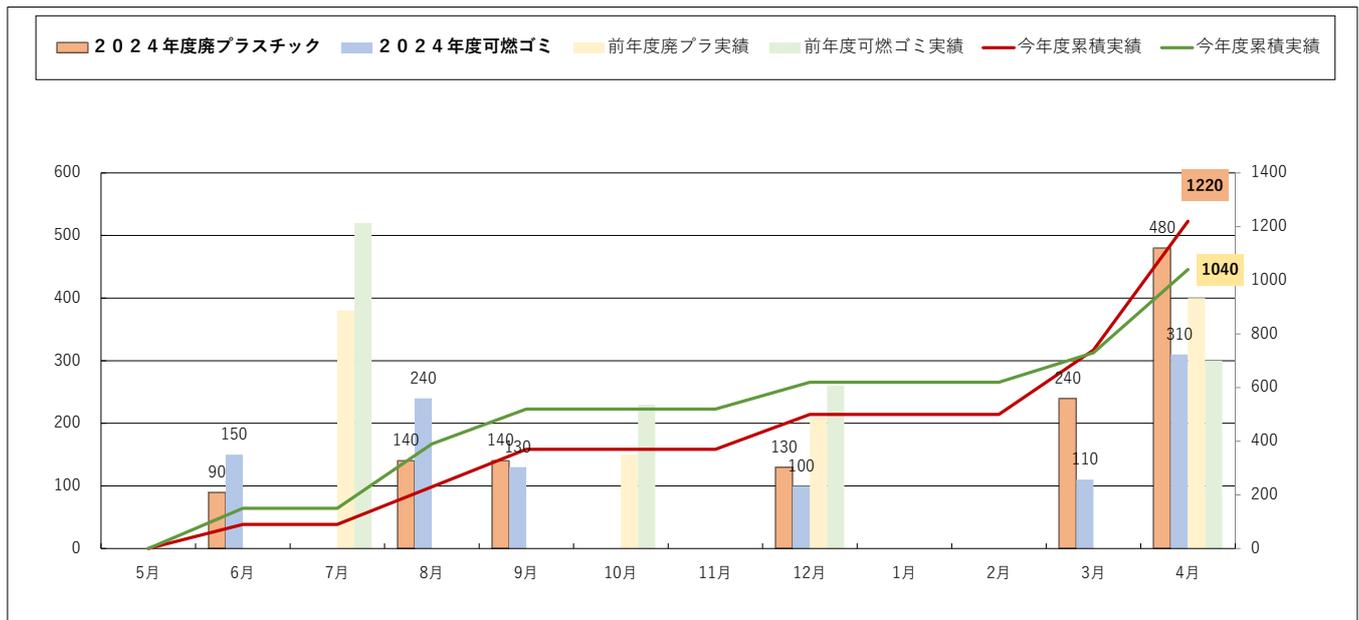
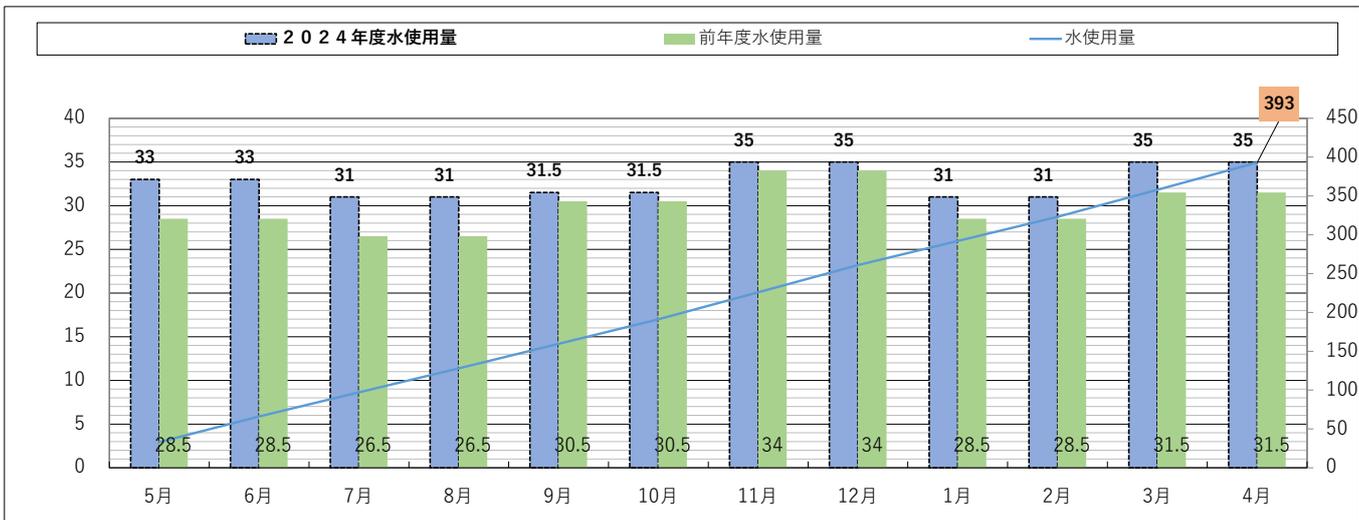
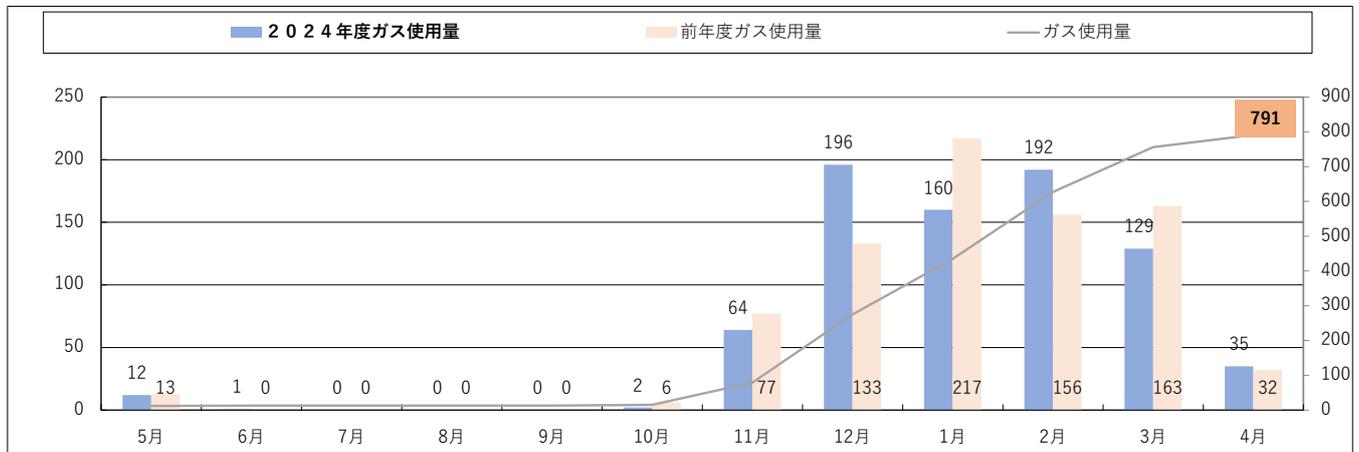
2024年度 集計結果

エネルギー使用量 実績		23年度実績	24年度	24年度	目標比
項目	単位	基準値	目標値	集計結果	増減率
電気使用量	kg-CO ₂	43,322	43,279	48,952	13.1%
ガソリン	kg-CO ₂	3,584	3,580	5,347	49.3%
軽油	kg-CO ₂	2,337	2,335	1,565	-33.0%
灯油	kg-CO ₂	10,695	10,684	9,813	-8.2%
ガス	kg-CO ₂	1,722	1,720	1,650	-4.0%
CO ₂ 排出量合計	kg-CO ₂	61,659	61,598	67,328	9.3%

産業廃棄物等排出量 実績		23年度実績	24年度	24年度	目標比
項目	単位	基準値	目標値	集計結果	増減率
廃棄プラスチック	kg	1,550	1,548	1,220	-21.2%
可燃ごみ	kg	2,210	2,208	1,040	-52.9%
廃棄物処分量合計	kg	3,760	3,756	2,260	

水使用量 実績		23年度実績	24年度	24年度	目標比
項目	単位	基準値	目標値	集計結果	増減率
上下水道	m ³	323	323	393	21.8%





実績評価コメント	環境に配慮した製品の設計・製造	環境に配慮された製品の設計・製造ができている。今後も維持・継続していく。
	グリーン調達	環境対応製品を積極的に購入できている。今後も維持・継続していく。
	CO2排出量の削減	2024年度目標比で9.3%増加した。これは電気使用量とガソリン使用量の増加によるものだが、電気においては仕事受注量、ガソリンにおいては客先への出張及び協力会社への訪問が増加した事に比例しており必要な増加と見れる。
	産業廃棄物の削減	緩衝材やダンボール・梱装箱など、リサイクル可能な物は上手く流用し可燃・プラ削減に結び付けている。今期は物量増加にて昨年実績より増加が見込まれる。
	水使用量の削減	定期的な社有車の洗車や外壁清掃など、環境維持目的で使用した経緯もあり目標比で増加となっている。以前の節水型トイレへ入替えた効果は引き続き維持しており、漏水対策含む週単位でも使用量を監視している。

【継続していく取組と今後の課題取組内容】

1.環境負荷低減を追求した製品設計・製造を推進

★受託開発品・自社製品の設計については、引き続き環境に配慮した省エネ設計、RoHS対応 REACH規制等に対応した開発を引き続き行う。

★社内各部門が連携し情報共有を行い、情報を有効に活用する。
環境に配慮すると共に、顧客ニーズに沿った設計、開発を引き続き行う。



2.環境に配慮した部品の優先調達を推進

☆継続して積極的に調達していく。

☆取引先の環境配慮状況を確認し、持続可能なパートナーシップを構築

3.CO₂排出量の削減

・電力の使用量については、最大需要電力(デマンド値)監視システムにより最大需要電力を抑制し削減を図る活動を継続して行う。

・冷暖房等は必要なエリアのみ、使用する。

夏季は扇風機/冬季は灯油ストーブ・ガスヒーターを併用することで削減を推進する。

エアコンは設定時間になると自動で切れるシステムを導入/就業15分前

温湿度計を設置し、適度な温度コントロールを管理する。



・コンプレッサー等設備使用については、使用する時に電源を入れ、待機電力を削減する。

・燃料については、効率のよい出張計画、省エネ運転推進を継続し、低燃費車を積極的に導入する。

・灯油・ガスについては、暖房温度に到達したら過剰暖房を止め削減を図る。

・蛍光灯は工場すべてLED化に変更。今後も導入の際はLEDとする。

・さらに社内窓枠等を断熱遮光フィルムにし、外気の遮断対策をしていく。



4.廃棄物排出量の削減

- ・分別することを継続。各自ゴミは持ち帰るように徹底し、さらにゴミの出ないようにアナウンスしていく。
- ・新入社員及び中途採用には、ゴミの仕分けを徹底して行うように教育指導する。



5.水使用量の削減

- 1) 節水活動を継続して行い、使用量削減を行う。
- 2) 漏水調査等を随時行い、異常増加などを未然に防ぐようにする。
- 3) 節水トイレの導入



- ・プロジェクトメンバーを中心に、快適に職場環境を常時、整えていく。
- ・改善提案活動の継続
- ・避難消火訓練の継続(年1回)
- ・工場内に加湿器・除湿器を設けて、室内の環境を整える。
- ・顧客要請に応じた開発設計の継続
- ・水道メーターの管理の継続

2024年度 避難訓練実施状況

●避難訓練の様子

2023/11/14 13:15~

社内全体に一斉放送を入れた。(実験棟出火想定)

各工場内から素早く避難し、避難集合場所に集まり点呼をとった。



●消火訓練の様子

デモ用消火器による初期消火訓練において三益消防様に指導して頂き、社員が実技訓練を行なった。
(主に新規入社社員)



●ポンプ操作方法手順等確認の様子
防火班が三益消防様指導のもと、小型ポンプの起動および放水訓練を行った



<p>教育責任者 終了時コメント</p>	<p>避難誘導を迅速に行うことが出来た。 また、三益消防様から消火器の訓練及び初動対応についても説明があり、各自の役割分担を明確にする中で防災意識を高めることが出来た。災害が多い昨今では、意識をもって行動することで、命を守る行動につながる。社員の経験値上昇を企図し、消火器および小型ポンプの操作は、新入社員や操作経験の少ない社員に担当させた。</p> <p style="text-align: right;">広田SS 2024.11.20 池田</p>
--------------------------	--

4 ～環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無～

(1)適用される環境関連法規制

当社の事業活動に適用される環境関連法規等は、次の通りです。

関連法	要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般及び産業廃棄物の保管、運搬・処分の委託、マニフェスト管理	遵守
消防法	少量危険物の貯蔵管理と取扱、届出(灯油)	遵守
フロン排出抑制法	3ヶ月毎簡易点検	遵守
電気事業法	中部電気保安協会点検(定期点検2か月毎及び年1回)	遵守
RoHS指令	顧客要求に応じて遵守	遵守

(2)環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社ではEA21推進委員会が適切に監視しており、環境関連法規への違反はありません。また、現在および過去10年間以上、問題の無いことを確認致しました。同様に関係機関および近隣住民などからの苦情、指摘、訴訟などは有りませんでした。

内容	過去10年間の結果
法律違反の有無	無
訴訟等の有無	無

5 ～代表者による全体評価と見直しの記録・指示 結果～

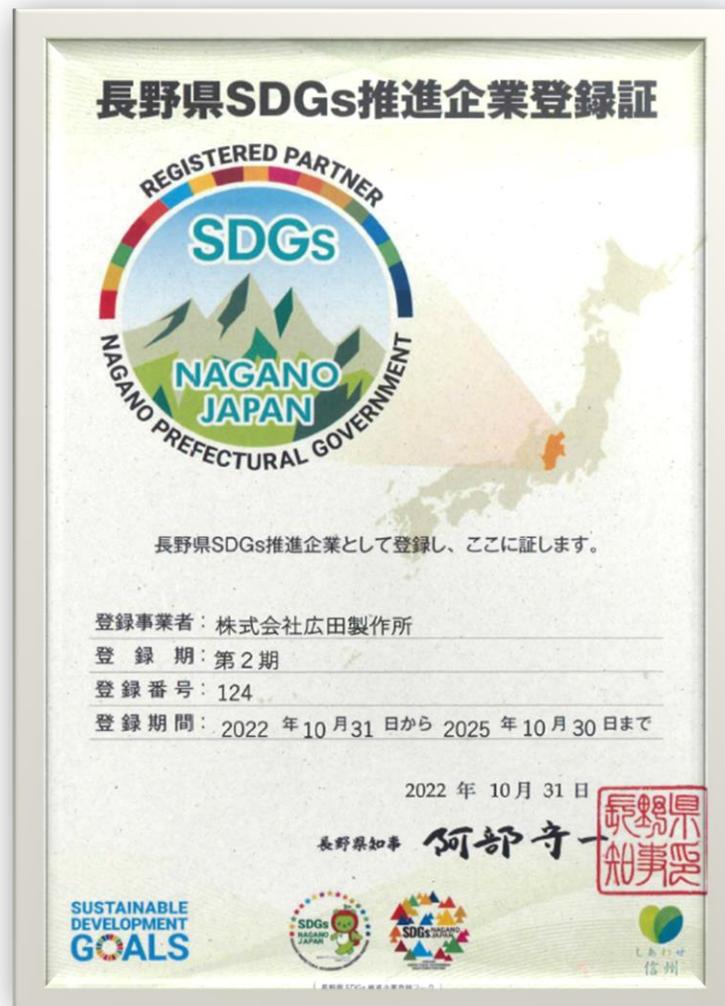
- ・会社全体で取り組んできたエコアクション活動は、社員一人ひとりの活動として定着してきた。生産活動の中でも節電や産業廃棄物削減に対する意識も高く、対応に迷う際は、事務局に確認を求める行動が定着している。
- ・電気使用量、ガソリン、軽油、灯油、ガスによるCO2排出量の目標値は一部達成出来ない項目が発生している。これは当社業績向上に起因する。
- ・2023年度に対し2024年度は15%強の増収。生産活動が活発になり工場を稼働させるために電気使用量が増加、またお客さまとの打ち合わせも増加し営業車の使用頻度も増加しガソリン、軽油の使用量もまた増加した。
- ・工場内照明のLED化や保温効果高い床設置、エコカー導入などの対策は以前より着手済みであり、この取組が生産活動活発化によるエネルギー使用量を抑制できた面はある。今後も引き続きエネルギー使用量抑制に取り組む。

6～その他の取り組み・活動～

ISO9001



SDGs



健康経営優良法人認定

